新型コロナウイルス感染症への対応
（６月１日以降）について

《那須塩原市長から市民の皆様へのメッセージ　Vol.８》

新型コロナウイルス感染症について、本市では、５月７日から３１日までを感染症警戒期間と定め、感染症拡大防止に努めてまいりました。

市民及び事業者の皆様の御理解、御協力により、警戒期間開始から本日まで市内で１人の感染者を出すことなく、感染症の拡大を食い止めることができたことに深く感謝申し上げます。

全国的にも緊急事態宣言が解除され、警戒期間が終了する６月１日以降は、本格的に市民生活、経済活動が再開されますが、市民及び事業者の皆様におかれましては、国が示した「新しい生活様式」の実践例を踏まえ、引き続き感染症拡大防止に努めていただきますようお願い申し上げます。

また、本市としましては、再度感染が拡大した場合の対応について、北那須３市町独自の非常事態宣言等の判断の目安を定め、今後の対応を行ってまいりますので、引き続き、市民及び事業者の皆様の御理解、御協力をよろしくお願いいたします。

記

１．感染症拡大防止のための北那須３市町独自の非常事態宣言等の判断の目安「北那須モデル」を設定しました。今後、感染の拡大が認められる場合には目安に沿った対応を行います。

２．自治会活動につきまして、当分の間は、感染拡大の危険が伴うことを常に念頭に置いていただき、重要度・緊急度の高い活動について、段階的に再開されますようお願いいたします。

３．小・中・義務教育学校については、６月１日から通常登校を開始します。今後も感染の状況をみながら適切に対応していきます。

令和２年５月２６日

那須塩原市長　渡辺　美知太郎

別紙

北那須３市町独自の非常事態宣言等の判断の目安
「北那須モデル」

	指標１．直近１週間の新規感染者数	指標２．入院者数	備考
非常事態宣言（赤信号）	５人以上	10 人以上	これまでの最大値を超える水準に設定
注意喚起期間（黄信号）	３人以上	５人以上	非常事態宣言の目安の半分の水準に設定
現在値（５月 25 日）	０人	４人	－
これまでの最大値	４人（４月 17 日,19～22 日）	８人（４月 25 日～５月１日）	－

※ あくまで現時点で考える目安であり、今後の状況に応じて変更する場合がある。

○　２つの指標のうち、いずれかの指標が目安に達したら、宣言等を判断。

○　非常事態宣言等を行った場合は、感染状況の推移等を勘案して、２週間程度後を目安に、解除を検討。

○　なお、市町民、管内事業者には、非常事態宣言等の有無にかかわらず、常に、感染拡大防止のため、新しい生活様式の実践、施設における対策の徹底への協力を依頼。

非常事態宣言を行う場合の対応

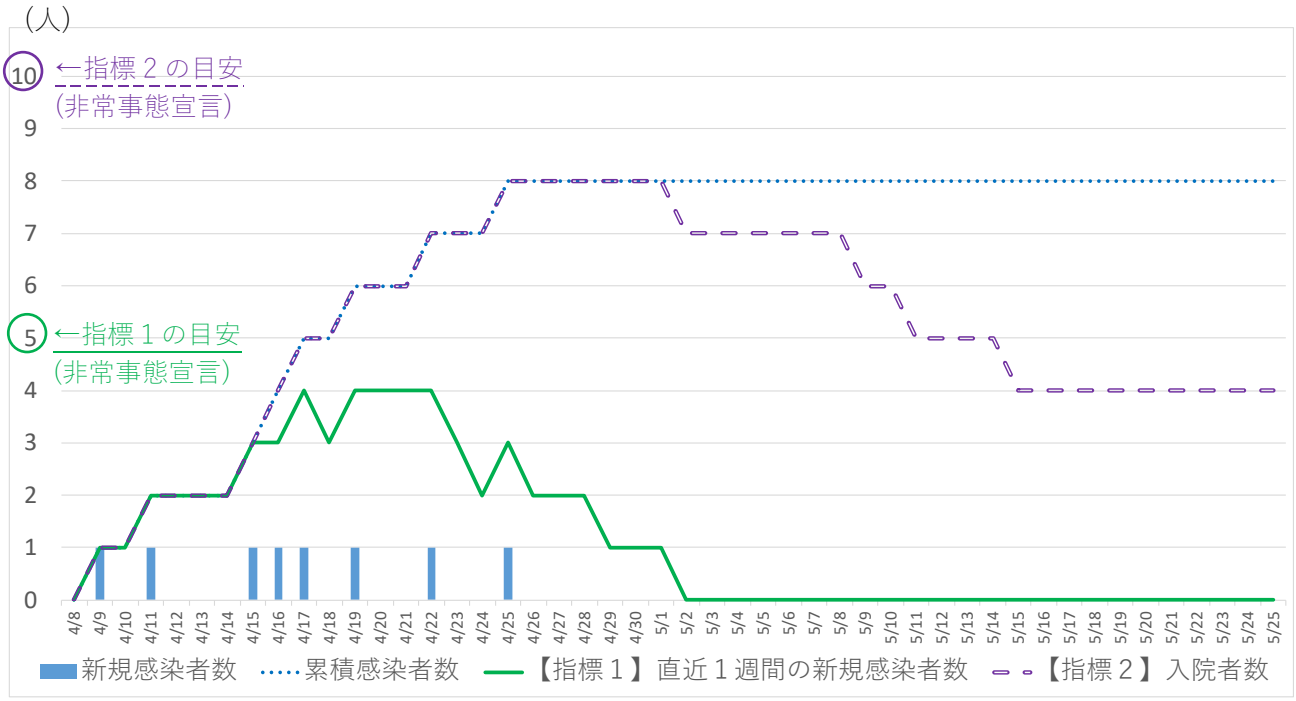
各地域における感染者の発生状況等も考慮しつつ、以下のとおり対応する予定。

⑴　市町民、管内事業者に、不要不急の外出自粛の協力を依頼。

⑵　県外からの不要不急の流入を抑制するため、関連する主な市町有施設を休業。

⑶　県に対し、感染拡大防止のために必要な民間施設（遊興施設、劇場、遊技施設等）への休業を要請するよう依頼。

【参考】



図．北那須３市町における新型コロナウイルス感染症の発生状況等
（令和２年５月 25 日時点）

「新しい生活様式」の実践例

（１）一人ひとりの基本的感染対策

感染防止の３つの基本：①身体的距離の確保、②マスクの着用、③手洗い

□人との間隔は、できるだけ２ｍ（最低１ｍ）空ける。
□遊びにいくなら屋内より屋外を選ぶ。
□会話をする際は、可能な限り真正面を避ける。
□外出時、屋内にいるときや会話をするときは、症状がなくてもマスクを着用
□家に帰ったらまず手や顔を洗う。できるだけすぐに着替える、シャワーを浴びる。
□手洗いは30秒程度かけて水と石けんで丁寧に洗う（手指消毒薬の使用も可）

※　高齢者や持病のあるような重症化リスクの高い人と会う際には、体調管理をより厳重にする。

移動に関する感染対策

□感染が流行している地域からの移動、感染が流行している地域への移動は控える。
□帰省や旅行はひかえめに。出張はやむを得ない場合に。
□発症したときのため、誰とどこで会ったかをメモにする。
□地域の感染状況に注意する。

（２）日常生活を営む上での基本的生活様式

□まめに手洗い・手指消毒　□咳エチケットの徹底　□こまめに換気
□身体的距離の確保　□「３密」の回避（密集、密接、密閉）
□ 毎朝で体温測定、健康チェック。発熱又は風邪の症状がある場合はムリせず自宅で療養

（３）日常生活の各場面別の生活様式

買い物

□通販も利用
□１人または少人数ですいた時間に
□電子決済の利用
□計画をたてて素早く済ます
□サンプルなど展示品への接触は控えめに
□レジに並ぶときは、前後にスペース

娯楽、スポーツ等

□公園はすいた時間、場所を選ぶ
□筋トレやヨガは自宅で動画を活用
□ジョギングは少人数で
□すれ違うときは距離をとるマナー
□予約制を利用してゆったりと
□狭い部屋での長居は無用
□歌や応援は、十分な距離かオンライン

公共交通機関の利用

□会話は控えめに
□混んでいる時間帯は避けて
□徒歩や自転車利用も併用する

食事

□持ち帰りや出前、デリバリーも
□屋外空間で気持ちよく
□大皿は避けて、料理は個々に
□対面ではなく横並びで座ろう
□料理に集中、おしゃべりは控えめに
□お酌、グラスやお猪口の回し飲みは避けて

冠婚葬祭などの親族行事

□多人数での会食は避けて
□発熱や風邪の症状がある場合は参加しない

（４）働き方の新しいスタイル

□テレワークやローテーション勤務　□時差通勤でゆったりと　□ オフィスはひろびろと
□会議はオンライン　□名刺交換はオンライン　□対面での打合せは換気とマスク

※　業種ごとの感染拡大予防ガイドラインは、関係団体が別途作成予定